

第2回 8月7日(月)

今回のテーマは、「言葉を使って、やる気を高める」でした。

本日の講座の目的…

- ① 先生方の「使ってみよう」「今度は～してみよう」を引き出す
- ② 言葉を使ってやる気を高めるスキルを知る
- ③ 言葉の機能を知ること、先生方のスキルをより広くボトムアップする

1 「やる気」の誤解

- ・待っていれば出てくる ・やる気を高めるためにご褒美を使うのはよくない
- ・行動しないのは、やる気がないから？

2 行動を増やすための原則

- 1) 報酬はすぐに！ 2) 相手が臨む結果 3) 強化かどうかは結果次第

3 行動の機能

- 1) 誰かからの注目を獲得する 2) 物や活動を要求する 3) 嫌悪の回避、逃避
- 4) 新たな感覚を獲得する、あるいは自分自身にある感覚の除去

4 演習「A君の行動の機能を分析してみましょう」

価値を見いだす → 価値を知るために

- ・価値を使ってどんな声をかけるかを考えてみましょう
- ・価値と共感を使ってどんな声をかけるかを考えてみましょう

受講者からの受講後の感想の一部を以下に紹介します。

- 本校児童のことで何度も相談させていただいたことが、本日の研修と結び付きました。難しいなりに、日々に生かせることを必死でメモしました。2学期以降、メモを振り返りながら実践していきます。
- 内容がタツプリーなので理解しながら先生の話についていくのが大変でした。一つのテーマを何回か連続で受けられる講座もあるといいのかなと思いました。
- 今関わっている子どもたちと信頼関係を築き、価値を知るためにその児童自身をよく知ろうと思いました。困り感に共感する言葉の視点で声をかけてみます。
- 今回の研修を受けて、気になる行動の背景にある気持ちや感情の読み取り方や伝えたいことについて詳しく共感する形で学ぶことができました。クラス経営等で活用していきたいです。
- 共感するための自己開示や子どもたちの好きなことを知るなど、少しずつでも意識を変えて向き合っていければと思いました。

